

教育目標
「自己を見つめ
他を思いやる心



たしかめ坂

土岐市立肥田中学校
令和8年度 第2号
令和8年4月30日

第1期「基礎をつくる」

「基礎をつくる」(前半)の仕上げに向けて

校長 土本 高夫

「基礎をつくる」とは、学年に応じて求められることを達成するための基礎を身に付けるということです。家で譬えるなら土台です。土台が頑丈ならば、上に建つ家は揺らぎません。ここでいう“基礎”とは、学年にふさわしい心構えと姿づくり、学習や活動の取組方、新学級での仲間づくりなどです。新年度が始まったばかりですから、今は結果よりもあきらめずに自分の課題を自分の力でどのように乗り越えるか、学級や全校の課題を仲間と力を合わせてどのように乗り越えるかを考え、実践し、改善を繰り返す時だと思います。

学級組織、体育大会団リーダーと団色の決定、第1回委員会、朝の地域清掃やペットボトルキャップ・アルミ缶回収など、さまざまな活動が始まりました。それらの活動の土台となるものは望ましい人権意識と道徳心です。そこで本校では裏面の通り全校道徳を行いました。生徒会役員の進行で以下の「肥田中人権宣言」を確認し、各学級でいじめについて学習したあと「学級人権宣言」をつくりました。

本校の子どもたちが、仲間に対していつもあたたかいのは、心安らく家庭があり、毎年このように人権について考えているからです。

あたたかい環境と仲間関係は、安心して学校生活を送ることができるための“基礎”です。「人権宣言」は、主語を家庭・地域に置き換えれば、学校だけではなく家庭・地域においても大切にされることです。ご家庭でも、ぜひ話題にしてみてください。

人権が大切にされる家庭・地域・学校には、あたたかい言葉と笑顔があふれています。

- あ 「ありがとう」は、よりよい人間関係をつくる魔法の言葉
- い 「いいね」は、よさを認め、さら学ぼうとする謙虚な言葉
- う 「うれしい」は、相手を幸せな気持ちにする癒しの言葉
- え “笑顔” 笑顔は言葉を輝かせる → 笑う門には福来る
- お 「おはよう」「おやすみ」は、相手の存在を認め大切に思う言葉

言葉には心を動かす大きな力があります。左記のような言葉と笑顔があふれる家庭・地域・学校でありたいと心から願っています。

肥田中学校人権宣言

前文 わたしたち誰もが笑顔で安心して学校生活を送ることができるために、肥田中学校生徒会として宣言します。

- 第1条 「あいさつ」と「笑顔」があふれる明るい肥田中学校をつくりまします。
- 第2条 友達の長所を見つけ、個性を尊重し、互いに高め合います。
- 第3条 善悪を正しく判断して行動します。
- 第4条 私たちは、相手の気持ちを考え、思いやりの心をもって接することによって相話しやすい雰囲気をつくりまします。
- 第5条 差別や悪口のない、ともに助け合える仲間を目指します。
- 第6条 「いじめ」は絶対にしません。認めません。見て見ぬふりをしません。

令和3年 前期生徒会

<お礼とお願い>

先日は授業参観とPTA総会・学年懇談会にご参会いただきありがとうございます。子どもたちの頑張る姿をご覧いただくことができうれしく思います。



懇談会のはじめにお話したように、子どもたちのよりよい育ちのためには家庭と学校が願いを同じくして役割(すべきこと・できること)を果たすことが大切です。保護者として人生のよき先輩として、わが子に願いを語り、導いていただきますようお願いいたします。

まもなくGW。わが子のこれまでの頑張りをほめ、願いを新たに持たせてください。わが子と語り合い、ともに過ごす時間が家族の絆を深める素敵な時間となることを願っています。